



## 社会に必要とされる人になるために

今朝の全校集会では、伝えたいことのはじまりの部分だけを投げかけて終わりました。その後の数時間、いろいろな答えが皆さんの頭に浮かんだのではないのでしょうか。

### 【全校集会で】

皆さんは、今、義務教育の最終段階を生きています。……3年生の皆さん、どうでしょうか？ 中学校生活も残すところ、あと184日です。社会に出て働く準備はできていますか？

例えば、会社に入るためには「入社試験」というテストがあって高校入試のように「面接試験」を受けます。これから「パナソニック」という電気製品の会社の面接試験で実際に起こった話をします。

面接試験会場の前の廊下で、今から試験を受けるグループの人達が待っていると、突然会社の人が出来て、「急に面接会場が変更になりました。これからご案内しますのでついてきてください」と言います。受験生たちは、その人の後について行って、新しい部屋の前に並べられたイスに順番に座っていきます。実はこの面接場所の変更こそが「入社試験」だったのです。

さて、何が合格・不合格の決め手だったのでしょうか。

日本を代表するような大企業の試験を受ける人たちですから、前もって過去にどんな質問をされたかをしっかり調査し、あらゆる情報源（大学の先輩たち）から情報を集めて、面接官を感心させるような答えを準備している人も少なくないそうです。が、しかし、面接でどんなに素晴らしい答えを言ったとしても合格できないのです。なぜかと言うと、「面接会場が変更になりました。」と言って案内してくれた人に「ありがとうございました。」の一言が言えなかった人は、すでに不合格となっていたからです。

4月の始業式からほぼ一か月間、『あいさつ・思いやりの声』が響き渡ることを何より大切にしてきました。誰かとすれ違う時、ほとんど無意識に近いぐらい当たり前に、「こんにちは、ありがとうございます」が言えている人は、すでに「社会に必要とされる人材の第一条件」を満たしている人なのです。

ここでもう一つ、大切なことを確認しておきましょう。皆さんの中には、「なんだ、あいさつができたからオッケーなんだ、楽勝じゃないか」と言う人がいるかもしれません。でも、よく考えてみてください。誰もが働きたいと願うような会社に入るために、義務教育の学習が必要ないと思いますか？

最近ニュースで「半導体不足で、車や電化製品の製造がストップして市民生活に大打撃を与えている」という言葉をよく耳にします。半導体とは何？ 答えは、「半分電気を通して、半分通さない性質を持った物質・材料」のことで、スマホや炊飯器、電源や電池で動くものには全てこの半導体が使われています。この半導体というものを理解するには、中学2年で学ぶ「電流」、3年の「電池のしくみ」、そして2つの半導体「単元素半導体・化合物半導体」を理解するには、2年の「単体・化合物」の違いが基礎となります。「うちの会社に入ってほしい、新しい電気製品の開発を任せたい」と言われる人になるためには、まず、中学校の間に身につけるべき「基礎学力」が必要なのです。

先日、各学年の授業を参観しました。残念なことに、授業者が説明をしている最中に、近くの人のペンをいじっている人や実験の重要ポイントを全く聞いていない人もいました。将来の可能性を作るのも潰すのも今。一日の大半を費やす授業を大切にしてください。5月の合言葉は「授業は真剣勝負」です。